

『市民文藝』第66号の入賞作品及び入選作品について

『市民文藝』は地域文化の創造と発展を期して昭和36年に創刊され、第66号を迎えました。
今年は99名から775作品の応募があり、帯広市教育委員会にて入賞作品を決定するとともに、市民文芸誌編集委員会で慎重に審議し、優秀な作品を入選作品として選考しました。
入選作品は、12月中旬に発刊予定の『市民文藝』第66号に掲載されます。

市民文芸賞
市民文芸準賞

随筆A
小説A

開いた引き出し
衣装縫い係

海富 智恵
長月 えるふ

入選作品

ジャンル	作品名	氏名（ペンネーム）
小説A（2）	この子いれ子のあんたの子	木村 文
	記憶の穴	都月 満夫
随筆A（11）	竜飛ブルー	冬春
	不思議な縁	小森 裕子
	あの人にもう一度会いたい	石橋 陽子
	追憶のふるさと	松山 康寿
	あの時	加藤 一恵子
	母の頬と兄の手	嶋田 由美
	桜から「さくら」へ	小田 郁代
	ほろ苦プリン	田村 律子
	手強いぞオベリベリ	ビート・カチート
	剣山火まつり	正子 耕三郎
	彼のタイミング	井戸 真由美
随筆B（3）	スーツデビュー	大根 大輔
	ささやかな出会い	桑谷 昌芳
	バナナボートに乗るつもり？	綱島 修
童話（1）	野原	瀬藤 範子
詩（6）	恋心	鎌谷 淳一
	父が見ていた海	鈴木 雅信
	日曜日の雨	田村 小次郎
	不在	吉沢 美和
	生きている	早花 咲月
	サイレント「にゃあ」	小田 郁代
短歌10首（5）	七十七歳のうた	澤田 わびすけ
	牛を手放す	白石 知徳
	言葉	永草 省子
	献杯	小田 郁代
	専業主婦賞6年ください	はつか

ペンネームで応募した人はペンネームで掲載しています。
同一氏名の複数掲載は、複数ジャンルでの入選を表しています。
並び順は、受付番号順です。
短詩型作品（短歌・俳句・川柳）の掲載は妙録となります。

ジャンル	作品名	氏名（ペンネーム）
短歌20首（7）	この空の下	鎌谷 淳一
	微命	鈴木 雅信
	炭山	大崎 和男
	選択	高橋 久美子
	第二の定年	田中 彰
	交々	仁志 佳祐
	これが日常	加地 真知子
俳句20句（11）	昭和の日	三島 裕子
	思考の余白	福田 秀樹
	国鉄時代	大崎 和男
	夜半の雪	田村 小次郎
	玉響	仁井 峯花
	春夏秋	兒玉 直子
	旅	阿部 由利子
	希笑	堂前 真実
	夏の色	大橋 祐子
	猫日和	猫川 ねこ
	たべる、つくる	しまみー
川柳10句（7）	草の丈	永草 省子
	起承転結	飛島 文江
	自然の間間に	小林 冬子
	熊のニュース	田村 小次郎
	私の愛すべき日常	山田 香織
	月見草	岩崎 石路
	この道	赤坂 智子
川柳20句（7）	海と人	工藤 満知
	古い桜	堀田 正晴
	A I	大崎 和男
	永久の水瓶	菊地 績人
	会話	菅野 静子
	スリッパの裏側	内田 万美
	さくら降る	伊藤 寿子